

清新中学校だより 清風

令和2年11月25日
第177号
臨時号

創立 50 周年に寄せて

すでにご承知のとおり、心待ちにしていました「清新中学校創立50周年記念式典」が中止となってしまいました。本来であれば、式典の中でご講演をいただく予定でした本校卒業生の齋藤仁美様から、この度、お祝いのメッセージをいただきましたので、この場を借りてご紹介させていただきます。

2005 年度卒業生 齋藤仁美さん

清新中生の皆さん、清新中学校創立50周年おめでとうございます。清新中の卒業生として、創立50周年という大きな節目をお祝いできることを誇りに思います。

本来であれば、皆さんの前で直接お話ができるはずでしたが、今回はこのような形になってしまったのが少し残念です。ですが、文字として残ることで、少しでも多くの方々に思いが届いたらいいなと思います。

今回は、50周年という節目に、在校生の皆さんと関わる貴重な機会を頂いたので、皆さんに「夢」についてのお話をしたいと思います。

突然ですが、皆さんに「夢」はありますか？

「プロスポーツ選手」、「YouTuber」、「保育士さん」など、すぐに答えられる人もいるかもしれません。でも、きっと皆さんの中には、少し悩んでしまったり、「夢なんていらぬや」と思ったりしている人もいないでしょうか。

私は、小学生の頃に出会ったアイススケートのショートトラックという競技で、2018年に行われた平昌五輪に日本代表として出場させていただきました。競技を通して、世界中の人と交流を深め、いろいろな価値観に触れる機会になりました。

私がオリンピックに出たいという「夢」を明確に持ったのは、皆さんと同じ中学生の頃です。もちろん、いいことばかりではなく、大変なこと、苦しいことの方が多くあったかもしれません。悔しくて涙を流した夜もありました。投げ出したくなる日もありました。でも、

目指すべき「夢」は、いつも私らしさと強さと応援してくれる仲間を与えてくれました。そこで得た経験や仲間は、何にも変えられない大切な宝物です。

人生は1度きりです、自分以外の他の誰かになることももちろんできません。でも私は、人生には、生まれ変わるチャンスがいくつかあるように思います。そのひとつが「夢」や目の前に取り組むべき何かを見つけた時です。自分が好きな人も、今の自分を好きになれない人も、現状は関係ありません。取り組むべき何かと出会った時、皆さんは、今よりももっともっと素敵になることができるのです。人生における時間は有限です。その限りある時間の中で、どうか毎日に丁寧に向き合い、

そして、自分を輝かせる何かを探してみてください。

どうか、これからの未来を担う皆さんの時間が「夢」と共に輝きであふれますように。清新中学校と皆さんの益々の発展をお祈りしています。



齋藤仁美さん 2005 年度 清新中学校卒業生
スピードスケート選手として、2018 年冬季の平昌オリンピックのショートトラック競技に出場。
女子 3000m リレーで 6 位。女子 1000m で準々決勝進出。